西陵高校新聞

発行
長崎県立西陵高等学校
新聞部

部員

〔3年生〕
川﨑和音・菅 海光
渋谷如那・藤田倖奈
渡海楓果・山口陽香
荒島美鈴・髙森心優嘉
牧野咲花・丸亀有莉乃
弥永佑泉・山口菜々子

〔2年生〕
陣野斗哉・山下柚乃
甲斐怜奈・木下兆太

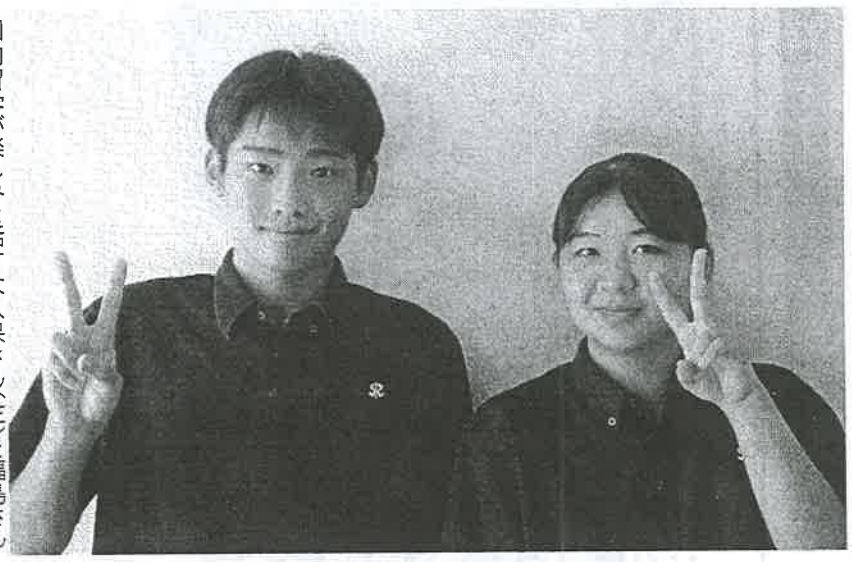
〔1年生〕
八戸朱花莉

8月5日、学校説明会復活（諫早文化会館）西陵の魅力、全開！

テンプル大学主催

国内留学にチャレンジ

放課後、ロバート先生と特訓中



国内留学が楽しみと話す大久保さん（左）と福島さん

テンプルホームページ

テンプル大学が主催する国内留学（京都）に大久保匠真さん（2－5）と福島晴香さん（2－3）が参加する。8月5日から8日の4日間、英語を集中して学びアメリカの大学の授業を体験する。

大久保匠真さんは「実践的な英語力を高めたい。また、日本文化の中心地である京都で多様な歴史に触れ、自分の視野を広げたい」と語る。福島晴香さんは「国外留学よりも安全で、近くで学べるところが魅力。他県の人たちと英語で会話することで物事を色んな角度から見ることができるようになるし、英語資格取得などのモチベーションに繋げたいと思っている」と話す。2人とも、放課後にALTのロバート先生と英会話の練習を行っており、国内留学に向けて着々と準備を進めている。

大久保さんは「特にアイコンタクトを交わすことで相手に思いを伝えることを意識している」と話す。福島さんは「ネイティブの発音が聞き取れるようにリスニングに力を入れている」と笑顔。「国外留学よりも安全で、近くで学べるところが魅力。他県の人たちと英語で会話することで物事を色んな角度から見ることができるようになるし、英語資格取得などのモチベーションに繋げたいと思っている」と話す。2人とも、放課後にALTのロバート先生と英会話の練習を行っており、国内留学に向けて着々と準備を進めている。

球技大会 結果

声援が飛ぶ、飛ぶ、飛ぶ

暑さに負けない“クラスの絆”

6月27日の午後と6月28日の2日間、屋外コートは厳しい暑さが続き、汗が止まらない中、球技大会が行われた。

バレーボール競技

男子3ー3、女子3ー4優勝

■男子　決勝戦は3ー3がーー6を制し優勝した。キャプテンの立石泰陽さんは「試合前から、優勝候補としてのプレッシャーを感じていたが、期待に応えて優勝することができたのでよかった」と嬉しそうに話す。3ー3は『苦戦しても敗戦しない』のスローガンのもと、前期中間考査期間中も練習を行ったそうだ。全試合の失点は平均して10点ほどで、圧倒的な強さを見せつけた。チームメイトに向けて「最後の球技大会で優勝といういい思い出を作れてよかった。みんなと一緒にバレーボールができて楽しかった。」とメッセージを送った。（山下）

アタックを決める立石さん

笑顔でポーズをする3ー3のみなさん

■女子　3ー4が見事優勝を果たした。ラリーが続く接戦だったが、粘り強いプレーと抜群のチームワークで頂点に立った。決勝戦は2ーーとの対戦。この試合も接戦となったが、最後まで集中力を切らさずに相手の強烈なスパイクにも冷静に対応し勝利した。特に、下柳春花乃主将が勝負の流れを作った。「ーー年生の下柳さんは優勝を目指してきたが、3位や準優勝止まりだった。一番最後に優勝できて最高の思い出となった」と嬉しさを全身で表し、「サービスエースが何本もあったことや、みんな相手のスパイクに恐れずにレシーブしてくれたことでラリーがつながり面白かった」と笑顔でコメントした。「相手チームのバレー部のスパイクを未経験者の選手がレシーブしてくれたのをバレー部2人でつないで得点にできたことで勝ちにつながった」と試合を振り返った。試合後も互いをたたえあう姿が見られ、勝利の裏には仲間との信頼と努力がしっかりとあったようだ。（八戸）

「優勝」と言いながらポーズを決める3ー4のみなさん

試合後、手を取り合って喜ぶ3ー4のみなさん

バドミントン競技

男子3ー2、女子2ー2優勝

バドミントン競技は第二体育館で行われた。各クラスは三つのペアに分かれて試合を行った。熱気がこもる体育館の中で、それぞれがペアと息を合わせ最後の一手まで戦い続けていた。

■男子　決勝戦は白熱した展開を見せ、3ー2が2ー3を制し優勝した。宇野遥樹さんは「決勝戦は、相手がさまざまな戦略を駆使していて、気が抜けない試合だった」と苦戦した様子。「自分たちのペアは負けてしまったが、他のペアが勝ってくれたお蔭で優勝できた。みんなありがとう」と笑顔をみせた。経験者が多く、鮮やかな手さばきを次々と見せた3ー2は強かった。（甲斐）

仲良くピースする3ー2の宇野さん(左)と入江さん

優勝した3ー2のみなさん

■女子　決勝戦は、2ー2が2ー6を制し優勝。2ー2のキャプテンの三宅摩耶さんは「最後に戦った2ー6はとても強かった。キャプテンだったが自分のペアは負けてしまった」と悔しい表情を浮かべ、「クラスのみんなが頑張ってくれたお蔭で勝つことができた」と嬉しそうに語った。（木下）

取材に答える三宅さん

優勝した2ー2のみなさん

サッカー競技

3年1組、男女優勝

■男子　二日間の激闘の末、サッカー男子の部で優勝した3年ー組のチームのリーダーを務めた白川奏太さん（3ーー）は「この球技大会を経てクラスの絆がさらに深まった。チームで優勝することで自分たちにとって忘れられない思い出になった。これからの高校生活にも精が出そうだ」と話し、「今回の球技大会で成長した団結力をさらに伸ばし、受験できついと感じるときやくじけそうなときも、互いを励まし合いながら切磋琢磨していきたい。みんなで自分達の志望する大学に合格したい」と心の内を熱く語った。（陣野）

優勝した3ーーのみなさん

■女子　決勝戦はPK戦にもつれ込み、3ーーが2ーーを制し優勝した。キャプテンの立川美輝さんは「3年生は今回の球技大会が最後なので優勝することを目標にしていた。実現できてよかったし、嬉しかった」と振り返る。MVPを聞くとサッカー経験者の松尾真樹さんを挙げた。ピンチの時に的確な指示を出してくれたからだと話す。「チームと応援してくれた人全員の協力があって勝てたと思う。ありがとう!」と満面の笑みで感謝を述べた。最後まで安定した守りをみせていた3ーーに拍手を送りたい。（甲斐）

アベック優勝が決まり、みんなで喜ぶ3ーーのみなさん

優勝した3ーーのみなさん